

2年学年通信

豊中市立第三中学校 71期生
2018.11.発行 No.20

職場体験よく頑張りました！！

10/30（火）～11/1（木）の3日間、職場体験学習をしてきましたね！それぞれの事業所でいろんなことを学べた3日間だったと思います。

先生達も事業所を回り、みんなの様子を見に行きましたが、みんなの普段見ない表情や動きを見て、頑張っているな！と嬉しい気持ちになりました！職場体験で学んだことを忘れず、これからの日々の生活に活かしていきましょう！

また、11/6（火）は三中の全25クラス一斉に「卒業文集 最後の二行」を読んで学習をしました。そして、14（水）には「すてっぷ」の本多晶子先生を講師にお招きして

「それって、セクハラちゃう！？～対等な人間関係を築くために～」というタイトルで、皆で共に幸せに生きるための学習をしました。この2つの学習は、切り口は違いますが、共通するのは「お互いを大切に思い合う」ということ。誰一人「他の人を傷つけてもいい」なんて権利は持っていないし、もちろん「進んで誰かを傷つけてやろう」なんていう人もいないと思います。でも、だからこそしっかりと考えてほしいのは、気付かないうちに自分の言葉や行動が人を傷つけてしまっていたり、不快な思いを抱かせてしまったりしていないかなあ？ということです。自分のことを客観的に見つめるきっかけにしてもらいたいです。「ノリ」で、自分自身の振る舞いも見えないまま「身内の受け」をねらってか、他の人をからかうようなことをしてしまっていないですか？本人を傷つけることはもちろん、その様子を見て心を痛めている人もいます。小学校のときには「ふわふわことば、ちくちくことば」という言い方でも教わったと思いますが、中2になった今、自分の行動や自分の口から出る言葉にもきちんと意識し、責任を持つように心がけてみてください。

「それアカンやん」「それって、おかしいやん」と思える感性や言える勇気が、みんなにとっての心地良い居場所をつくっていきます。



職場体験前、「職場体験で頑張りたいこと」を考えてもらいました。実際職場体験を終えての感想を少し紹介したいと思います。

～職場体験の感想～

「あいさつ」

「あいさつは先生方や子どもたちの保護者の方にもできたと思います。でもたまたま子どもたちの方から「おはよう！」とあいさつをしてくれたので、その時はとても嬉しかったです。歩道の溝の草むしりをしている時に通いかかった人が「お疲れ様」など声を掛けてくれました。とても気分が良かったし、嬉しい気持ちになりました。やっぱりあいさつは人の気持ちを明るくしてくれるなと思いました。あいさつは仕事をするうえでとても大事な。と改めて思いました。3日目に最後のあいさつをする時も感謝の気持ちを込めて先生方、子どもたち、保護者の方々にお礼を言えました。感謝の気持ちが伝わればいいなと思います。

「一生懸命頑張る」

この気持ちを常に持って、頼まれた仕事をしました。少し失敗をしてしまったこともありますが、「全然大丈夫」と優しく励まして下さいました。でも、励ましてもらえたのは、私が出来る限り迷惑をかけないように一生懸命頑張っていたからではないかと思います。やっぱり私も一生懸命頑張っている人を見たら応援したくなるし、失敗しても「大丈夫」と励ましたくなるなと思うからです。しかし、一生懸命していれば何をしても許されるということではありません。失敗した時はちゃんと反省して謝るということも大切です。なので、一生懸命に取り組むけどそれでもやってしまった失敗をきちんと認め謝れるよう心がけたいです。

「人と接する仕事とはどのようなものかを知る」

今回、実際に体験してみて人と接する仕事とはどのようなものか知ることができるよう相手に気持ちをいつも以上に考えて言動に気をつけるように頑張りました。

今回は職場体験の場所が保育園だったので子どもや先生方、保護者の方と関わる(接する)ことがありましたが、やはり、どんなことよりも人の気持ちを考えると言う事は私生活でも他の仕事でも生きていく限り人と関わるには最低必要だなあと思いました。

「笑顔」

最初は緊張して固まってしまっていたと思いますが、子どもたちと仲良くなるにつれ、笑顔になりました。2日目からは朝も早く大変だったけどずっと笑顔でいることが出来ました。私が笑顔でいると子ども達も笑顔になってくれたので笑顔って大切だなあと思いました。

「気を利かす」

職場はチームワークが良く、とても流れが良く皆が全力で仕事に取り組んでいました。その中で僕は出来る限りの気配りをする事が出来たと思うので良かったです。

「はきはきとしゃべる」

あいさつは出来ましたが、会話になると人見知りが出てしまってあまりはきはきとは喋れなかったなと思います。自分から話すことはできませんでしたが、他の人が話をしているのを聞くのは成長したかなと思います。目を見て、笑みを浮かべながら話を聞くと良い。と事業所の方に教えてもらったので、それを心がけて話を聞くようにしました。

「積極的に」

計算やパズルなどをしている利用者さんが「分からない」など、困っている時、スタッフの皆さんに言われる前にその方のお手伝いにまわったり、3日目には1日2日と流れできたから、「あ！これ今しなきゃだな！」というのが分かって言われる前に自分たちで行動に移せたというのが良かったと思う。

「何事にも全力で挑戦する」

まず、一番初めの仕事は庭師の方が切った木をトラックに積み込んでいくというとても簡単な仕事でしたが、ダッシュで運び、ダッシュで帰ってくる。これを繰り返していくうちにその1つの仕事にでさえもやりがいを感じる事が出来ました。そして、次の仕事は太い木と細い木を選別する事でした。この時、3日連続で1番若い人がジュースを買ってきてくれて、「休憩！！」と社長が言っていると、みんな集まってきて、ジュースを飲んで話をしたいしました。でも社長が「やろか！！」と言っていると、みんなはジュースを飲み干し、それぞれの持ち場に戻っていくので、切り替えが早くてすごいなと思いました。

(活動の様子)

